



小樽南ロータリークラブ会報

1960年創立
昭和35年2月5日

24

2022年5月27日発行
通巻 第2967号

Rotary 2021-2022年度テーマ

2021-2022年度 RI第2510地区目標

- 世界に奉仕を 地域には感謝を
- 不忘感謝先人偉業

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

今週5月27日金のプログラム

- クラブ定款・細則変更 廣瀬委員長

来週6月3日金のプログラム

- 卓話：米山奨学生 孔 莉君さん コウ リジュン

来週6月10日金のプログラム

- クラブフォーラム

●例会場/オーセントホテル小樽 ●例会日/毎週金曜日12時30分 ●事務局/〒047-0032 小樽市稲穂2-15-1(オーセントホテル内) TEL.0134-27-8080 ●Club Homepage URL <http://rid2510.org/otarusouth/>

●第23回例会報告 (5月20日金) ●インターアクト研究 宮川会員

■ロータリーソング【我らの生業】

■ゲストビジター紹介

米山記念奨学生 孔 莉君さん

■会長挨拶【野村会長】

5月はお承知のとおり青少年奉仕月間となります。本日は懸案でもございました、インターアクトクラブ創設が可能なのかを模索するために宮川会員にお話をいただきます。当クラブは創立以来の優秀高校生の表彰、ブックスタート・ポエムコンクールの後援、商大への留学生支援の寄付等、青少年に対する奉仕活動を継続してまいりました。正に青少年奉仕は南ロータリークラブの金看板ともいえます。是非、双葉高校ボランティア部との連携が進みインターアクトクラブが実現することを期待しております。

■幹事報告

●特になし

■委員会・同好会報告

【井手次期幹事】

例会終了後、次年度の打ち合わせをします。

■出席委員会

令和4年5月20日(金)

会員総数 58名 本日の欠席者 0名
理事会決定により100%出席

リモート出席者 3名 米山、見延、保知

令和4年4月13日(金)

会員総数 58名 100%出席



米山記念奨学生 孔 莉君さんに奨学金を渡す

■まごころ箱 いつも有難うございます!

- 野村会員** 宮川会員、よろしくお申し上げます。
- 拝田会員** 10日結婚記念日、15日誕生日でした。ありがとうございます。
- 盛 会員** 夫人誕生祝。
- 中山会員** 夫人誕生祝。
- 岡崎会員** 結婚祝。
- 井手会員** 宮川会員の卓話、ありがとうございました。
当クラブとして継続活動になって行くと思います。
- 宮川会員** 卓話、ご清聴ありがとうございました。

入金集計額

【令和3.7.2～令和4.5.20】

5月20日分
16,000円

合計 **738,500円**

インターアクト研究

小樽双葉高等学校・奉仕活動部のご紹介

北海道龍谷学園 小樽双葉高等学校
理事長 宮川 英 隆



1. 正式名称

校名については時代と共に変更になった雙葉高等学校。

頭に女子がついたり、小樽がついたりつかなかったり。双葉学園という名称がついたり、変遷を繰り返し、現代の北海道龍谷学園小樽双葉高等学校となりました。

2. 活動開始

1977 (昭和52) 年 4 月

3. 部員数

21名 (令和4年5月9日現在)

4. 活動実施

本来であれば部活動に関しては入学時に決め、文学関係、運動関係へと入部して活動しますが、奉仕活動に関しては生徒会のボランティア委員会があり、その中に所属していますが、現実にはボランティア委員会の活動を牽引し、学校全体で活動しています。そのため、奉仕活動部にはその様子を見て体験して、2学年、3学年で入部する生徒が多くなって来ています。

i 毎年実施している活動

- 春・夏・秋・冬の各1週間交通安全運動を実施し、住吉神社前にて旗波をつくり交通安全の呼びかけ
- 赤い羽根共同募金街頭活動
- 年度末に「フィリピン・ミンダナオ子ども図書館」へ物資支援
(卒業生の靴ほか、他の団体から寄贈いただいた作業着や子ども靴、文房具など)
- 小樽市教育委員会からの依頼で「樽っサポート支援」として、長期休業中に小・中学校での学習支援
- 緑の募金活動とその還付金による校内花壇整備
- 本願寺小樽別院行事の参加者 (主に降誕会における子どもたち) 接待

ii 昨年度実施した活動

- 科学の祭典小樽大会 (オンライン・デモ) における運営スタッフ
- 北海道主催「北海道×SDGs」への加盟
- 龍谷総合学園主催「仏教×SDGs2021」参加

iii 例年、実施依頼のある活動 (昨年度はコロナ禍で実施見送り)

- 小樽市主催「街をきれいにし隊」参加
- あしなが募金街頭活動
- 小樽別院保育園・幼稚園の運動会やお遊戯会の手伝い
- 「ともしび会障がい者ボランティアの会」主催のレクリエーションの補助
- 「24hテレビ」街頭募金スタッフ
- 「小樽雪あかりの路」設営ボランティア
- 児童養護施設「黒松内つくし園」小樽一泊二日旅行来樽時の引率補助

5. 活動資金

- 本校生徒会より ￥10,000円
- 北海道社会福祉協議会 (学童・生徒のボランティア活動普及事業) ￥100,000 (3ヵ年)

6. その他

i 先輩卒業生たちのその後の奉仕活動

部員には、看護師など医療従事者や社会福祉士・児童福祉司を目指している生徒が多く、看護師や社会福祉士になっている卒業生も多くいる。

ii 今後の活動に向けて

奉仕活動部員の減少により、本校生徒会執行部をはじめ全校をあげて (参加者を公募して) 活動を実施する予定です。今年度からはボランティア依頼も多くなると予想されることや、コロナ禍であっても自主的にできる活動の幅を広げたいと考えています。

課題としては、物資支援については物資の安定した供給源の確保が挙げられます。

子ども図書館への送付ということもあり、子ども用の文房具や服などの確保が必要と考えます。

現在、本願寺小樽別院 (婦人部の方々) をお願いして物資の提供の呼びかけを検討中。